

未来への取り組み ~23区の未来図~

第15回 台東区

江戸から続く地域資源『江戸たいとう』の魅力を発信 未来へつなぐ江戸文化

台東区では、江戸から明治へと時代が変わり、「東京」が誕生して150年の節目の年である平成30年を「江戸ルネサンス元年」と位置づけ、本区に色濃く残る江戸の文化資源『江戸たいとう』の魅力を発信してきました。今年は、上野の山に位置する東叡山寛永寺が創建400周年を迎え、江戸時代の台東区を舞台とした大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」も放送されています。今回の特集では、『江戸たいとう』の魅力を紹介します。

台東区に息づく多彩な江戸の文化資源を区内外に発信

江戸から続く歴史と文化を 学ぶ講演会を開催

台東区には、江戸の昔から続く伝統行事や神社仏閣、名所旧跡の数々があり、上野や浅草をはじめとしたまちと、そこに住む人々の暮らしの中には今もなお、江戸のこころと文化が息づいています。平成30（2018）年度から令和3（2021）年度にかけて実施した「江戸から学ぶ」では、江戸に学び、未来を拓くというコンセプトのもと、江戸の暮らし・風習、芸能・文化などをテーマにした全17回の講演会を行いました。続く令和5（2023）年度には、「江戸からつなぐ歴史と文化」をコンセプトに、学び

の視点から『江戸たいとう』の魅力に迫る「江戸・たいとう学」を開催し、全8回にわたる講演会等を行いました。そして、令和6（2024）年度からは、「江戸に親しむ」と題し、大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」の主人公・蔦屋重三郎に関する講演会などを行っています。

江戸から続く伝統芸能・ 芸術文化を楽しむお祭り

平成30（2018）年から開催している「江戸まちたいとう芸楽祭」は、粋、豊かな人情、進取の気性など、心を感じる「江戸まちたいとう」で、先人たちが守り、育み、現代へ継承されてきた多彩な芸能・芸術文化を肩の力

を抜いて楽しめるお祭りです。今年で

8回目となるこの催しは、台東区と地域や民間事業者との協働による実行委員会が実施主体になって、主に映画、演劇、芸能の3分野に関する事業を行っています。まちかど映画会や区内中学・高校演劇部による公演、名誉顧問のビートたけしさんが審査員を務める「ビートたけし杯『お笑い日本一』」を開催するなど、多岐にわたるプログラムを実施しています。

昨年は、台東区が舞台のTVアニメ「ワールドダイスター」とコラボし、今年は、初代林家三平氏生誕百年関連企画を実施する予定です。



公式サイト



Instagram



X(旧 Twitter)



連続講演会「江戸から学ぶ」と「江戸・たいとう学」を講演会記録集としてまとめました。



(左上) 江戸手描提灯 (右) 江戸押絵羽子板
(左下) 江戸切子

江戸の職人技を継承する 台東区の伝統工芸品

浅草の浅草寺、上野の寛永寺を始めとする寺町として賑わいを見せていた台東区は、江戸の市域が再編され、拡大するにつれて多くの職人が集まるようになりました。また、遊里（吉原）や歌舞伎・人形浄瑠璃の劇場が浅草に移され、浅草が江戸随一の盛り場として栄えたことから、さまざまな場面で職人の技能が求められるようになりました。このような歴史的背景のもと、台東区には多くの職人が集まり、現在に至るまで伝統の技を受け継ぎ、活躍を続けています。台東区の伝統工芸品には、シャープな模様が美しい江戸切子、金釘を使わず組み立て



江戸たいとう伝統工芸館

場所：台東区浅草2-22-13 TEL:03-3842-1990
開館時間：10時～18時
休館日：毎月第2・4火曜（祝日の場合は翌日）
入場料：無料

伝統工芸品を広く紹介する 「江戸たいとう伝統工芸館」

台東区の伝統工芸品を紹介している「江戸たいとう伝統工芸館」では、約50業種・250点余りを常設展示しています。また、より多くの国内外の方に伝統工芸品を広く理解していただけるよう、館内に設置した大型ディスプレイやスマートフォンから、日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語で各工芸品の詳しい解説がご覧いただけるようになっていきます。

江戸時代の正月行事を 復活させた「浅草流鏑馬」



浅草流鏑馬

だりパーウオーク（言問橋間）で開催し、多数の来場者が見守る中で射手の妙技が披露されました。

江戸に始まる伝統の花火を 受け継ぐ「隅田川花火大会」



隅田川花火大会

台東区には、江戸時代以来の歴史と伝統を有した四季折々の行事がたくさんあります。浅草での流鏑馬の歴史は大変古く、江戸時代、浅草神社の正月行事として毎年1月5日に実施されてきました。台東区では、これを観光行事として昭和58（1983）年に再現し、以降毎年実施しています。鎌倉武士の狩装束を身にまとった射手が、疾走する馬上から弓矢を放ち、壺の的、式ノ的、参ノ的を次々と射抜きます。今年の第41回浅草流鏑馬は、4月19日に隅田公園の特設馬場内（すみ

「隅田川花火大会」は、享保18（1733）年に始まった両国の花火の伝統を受け継ぐ花火大会です。歌川広重の浮世絵『名所江戸百景』にも描かれている両国の花火は、「両国の川開き」という名称で、昭和36（1961）年まで両国橋上流で打ち上げられていましたが、交通事情の悪化等により、翌年以降、開催できなくなりました。その後、昭和53（1978）年、「隅田川花火大会」として復活し、今年で48回目を迎えました。毎年7月下旬に開催し、約2万発の花火が打ち上がります。

大河ドラマ「べらぼう」の放送を契機とした、台東区の魅力発信の取り組み

官民連携で取り組みを推進

台東区は、現在放送中の大河ドラマ「べらぼう」主演・葛城重三郎の出身地であることから、これをきっかけとした区の魅力発信に取り組んでいます。

葛城重三郎は、寛延3（1750）年、江戸・新吉原（現在の台東区千束）で生まれ、20代で吉原大門前に書店「耕書堂」を開業しました。吉原細見や黄表紙本の発行に携わる中で、平賀源内をはじめとする多くの文化人と交流を深め、喜多川歌麿や東洲斎写楽などの絵師や山東京伝などの作家を見出し、作品を次々とヒットさせて「江戸のメディア王」として大成を収めました。

台東区では、区と関係団体で、台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会（以下、協議会）を設立し、区

の歴史・文化の発信や地域の活性化に取り組んでいます。協議会では、「葛城重三郎ゆかりの地 台東区」公式サイトをオープンし、葛城重三郎の生涯やゆかりの地などの情報を発信しています。
<https://taito-tsutajui.jp>

映、花魁の衣装や吉原を掘り下げる特集パネル、徳川幕府コーナーなど、大河ドラマの世界を存分に楽しむことができます。

大河ドラマ館に隣接したお土産館「たいとう江戸もの市」では、大河ドラマ「べらぼう」のロゴが入ったグッズをはじめ、台東区や江戸に関するお土産品など計500点以上を販売しています。

また、千束には、葛城重三郎が吉原大門前に開業した耕書堂を模した観光拠点施設「江戸新吉原耕書堂」がオープンし、吉原に特化した観光案内やお土産品の販売などを行っています。ここには、大河ドラマ館から葛城重三郎ゆかりの地をめぐる循環バスも発着しています。



正法寺（葛城重三郎の菩提寺）



五十間道と耕書堂跡



江戸のヒットメーカー
葛城重三郎と江戸文化

協議会が小学生向けに制作した小冊子。葛城重三郎と江戸文化について楽しく学べます。



べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館

開設場所：台東区民会館9階（台東区花川戸2-6-5）
開館期間：2025年2月1日～2026年1月12日
開館時間：9時～17時（最終入館16時30分）
休館日：毎月第2月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始等
入館料：大人800円、小人400円ほか
主催：台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会



たいとう江戸もの市

場所：台東区民会館9階（台東区花川戸2-6-5）
営業期間：2025年2月1日～2026年1月12日
営業時間：9時～17時
休業日：毎月第2月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始等
入場料：無料



江戸新吉原耕書堂

場所：台東区千束4-24-12
営業期間：2025年1月18日～2026年1月12日
営業時間：10時～17時
休業日：毎月第2月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始等



葛城重三郎 ゆかりの地マップ



PR イラスト



マスコットキャラクター「つたいやん」



BEAMS JAPAN による新商品開発支援



江戸をテーマにした手土産品の開発支援

「葛屋重三郎ゆかりの地台東区」ロゴマーク等を公募
協議会では、大河ドラマの放送を契機とした地域活性化を図るため、令和6（2024）年4月12日から5月17日までの期間にロゴマーク・マスコットキャラクター・PRイラスト・キャッチコピーの公募を行いました。ロゴマーク57件、キャッチコピー652件、マスコットキャラクター122件、イラスト20件の応募があり、審査を経て、採用作品を決定しました。採用作品は、事前の使用申請があればどなたでも使用できるものになっています。こちらを使用した文房具やキーホルダーなどは、江戸新吉原耕書堂などで販売されています。

ビームスジャパンと連携し
新商品開発支援事業を実施
台東区は、大河ドラマの放送を契機として、株式会社ビームスが運営する「BEAMS JAPAN（ビームスジャパン）」と連携し、審査で選ばれた区内企業8社が取り組む「江戸」や「葛重」に関連した新商品の開発、既存商品のブラッシュアップを支援しました。また、区内中小企業による大河ドラマを契機とした手土産品の開発に対しても助成を行いました。これらの商品は、たいとう江戸もの市で販売するとともに、「江戸たいとう粋な手土産」というタブロイドを作成し、区内外へ広くPRしています。

未来へつなぐ
『江戸たいとう』
台東区では、江戸から続く伝統・文化、産業、観光などの地域資源『江戸たいとう』を活用し、これまでさまざまな事業に取り組んできました。また、大河ドラマ「べらぼう」の放送をきっかけに、本区に息づく江戸文化を多くの方に知ってもらえるよう、さらなる取り組みも進めています。今後もある『江戸たいとう』の魅力を区内外に発信し、より多くの人々を惹きつける活力あるまちの実現につなげていきます。

掲載画像は全て国立国会図書館蔵
国立国会図書館 Web サイトより

歌川広重画
『名所江戸百景 上野山内月のまつ』

イメージ図

江戸たいとう

松葉模様
隅田川花火を表現

歌川広重画
『名所江戸百景 両国花火』

江戸の『戸』
月の松を表現

歌川広重画
『東都名所 不忍池』

江戸の『江』
弁天堂と不忍池を表現

歌川広重画
『東都名所 不忍池』